

31

# 環境影響評価書案

—日東製粉東京工場建設事業—

建設業許可證  
登記證  
監理部

昭和60年11月



日東製粉株式会社

## 1. 総 括

### 1.1 事業者の氏名および住所

日東製粉株式会社

代表取締役社長 泉 一 雄

東京都中央区八丁堀四丁目11番2号

### 1.2 対象事業の名称

日東製粉東京工場建設事業

(事業の種類 : 工場の設置)

### 1.3 対象事業の内容の概略

本事業は、東京都中央区晴海二丁目4番31号に所在する工場（事務所、工場、小麦サイロ）を東京都大田区東海五丁目地先（大井ふ頭その1埋立地）に移転し、建設するものである。

工事の工程計画概略は表1.3-1に示すとおりであり、事業計画の概要は表1.3-2に示すとおりである。

表1.3-1 工事工程計画の概略

年	昭和62年												昭和63年												64年		
月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
土木工事	←	→											←	→													
建築工事		←												→													
機械搬付工事														←	→												
輸送	←	→											←	→													
運転														←	→												

表1.3-2 事業計画の概要

工場設置位置	東京都大田区東海五丁目地先
工場生産品目	小麦粉およびふすま
同 生 産 量	161,000トン/年
同 主 原 料	小麦
工場敷地面積	総面積 約2.94ヘクタール 事務所、作業所面積 約1.52ヘクタール 駐車場、通路面積 約0.68ヘクタール 緑地、環境施設面積 約0.74ヘクタール
敷地内建物 および高さ	小麦サイロ棟(52.4m), 製粉工場棟(37.6m) 製品倉庫棟(15.1m), 事務所棟(35.4m), トラック車庫棟(10.0m)
主要設備	原料搬入搬出用コンベア, エレベーター, 製粉機, 包装機, 熱風ボイラー, パレタイザー, モノリフト, 空機圧縮機, 送風機, 集じん装置

#### 1.4 環境に及ぼす影響の評価の結論

##### (1) 騒 音

###### ① 工場騒音

本工場から発生する騒音による工場敷地境界地点での将来の騒音レベル最大値は、朝59dB(A), 昼間61dB(A), 夕59dB(A), 夜間58dB(A)となり、工業地域の規制基準値を朝、昼間及び夕の時間帯には1~13dB(A)下回り、夜間には3dB(A)上回ることになる。

しかし、敷地の周囲は20m幅の道路で囲まれること及びこの周辺地域に夜間の定住人口がないことから、工場騒音が周辺地域に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

###### ② 建設作業騒音

建設工事作業騒音による敷地境界30m地点での騒音レベル最大値は、杭打作業および掘削作業を行っているときに約70dB(A)となる。

この値は工業地域の建設作業に係る規制基準値を15dB下回ることから、建設作業騒音が周辺地域に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

## (2) 振動

### ① 工場振動

本工場から発生する振動による工場敷地境界地点での将来の振動レベル最大値は、昼間47dB、夜間45dBとなり、工業地域の規制基準値を昼間の時間帯には18~19dB下回り、夜間には15dB下回ることになる。

これらの将来値は、振動を感じ始める閾値(55dB)以下であることから、工場振動が周辺地域に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

### ② 建設作業振動

建設工事作業振動による敷地境界地点での振動レベル最大値は、杭打作業を行っているときに77dBとなる。

この値は工業地域の建設作業に係る規制基準値を2dB上回ることになるが、敷地の周囲は20m幅の道路で囲まれること及びこの周辺地域に住居が存在しないことから、建設作業振動が周辺地域に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

## (3) 景観

事業予定地は大井ふ頭の南東端に位置しており、視界は広い。そのため周辺の景観と統一感を持つよう建物外装はシンプルな白を基調としたデザインとした。玄関口のふ頭景観として、清楚な印象を与えると考えられる。

また建物の周囲には植樹を行い、緑化を図る。

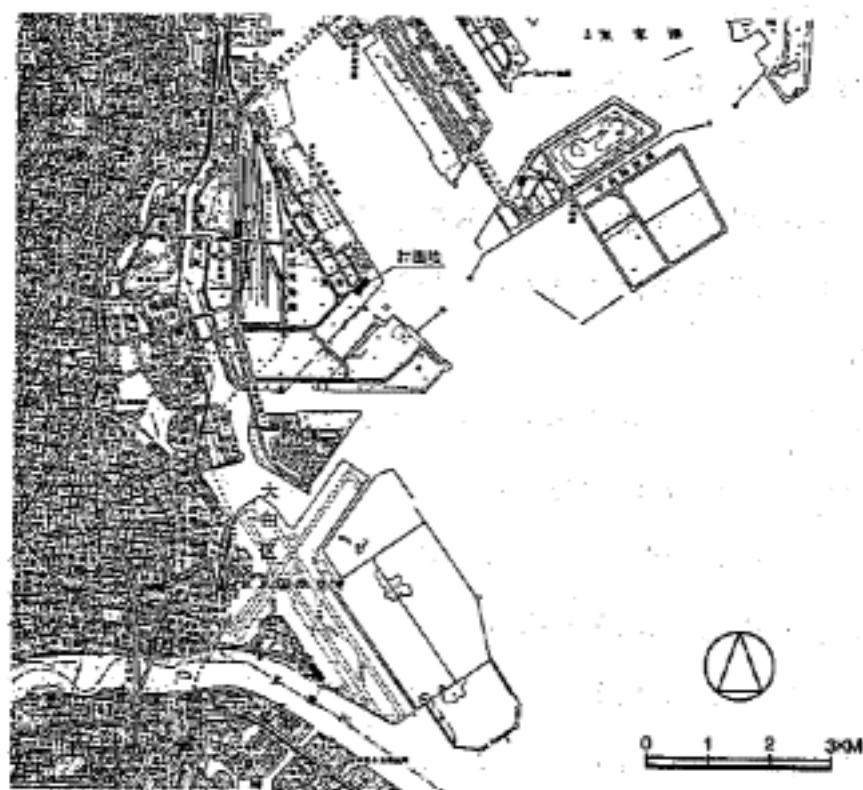


図 2.2-1 対象事業の位置

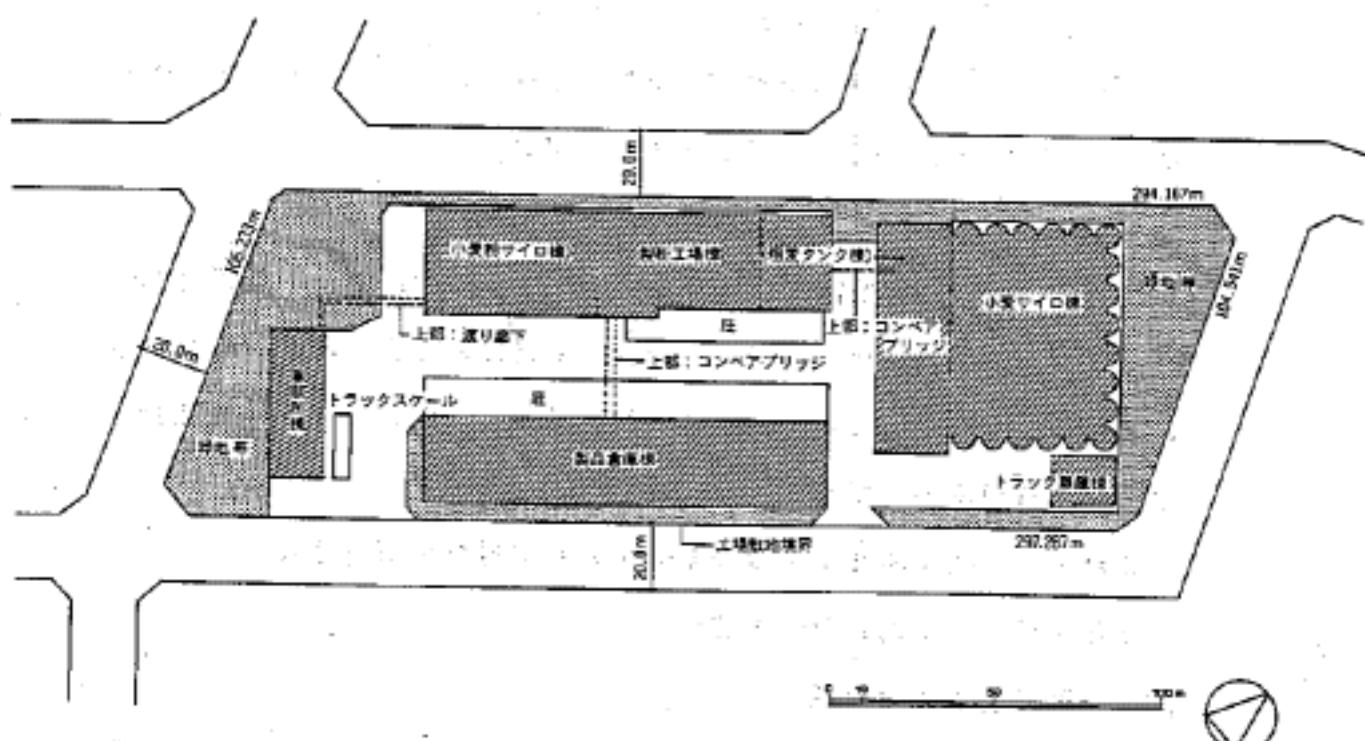


図 2.2-2 建物位置概略図

図 2.2-3 敷地内施設配置図

